

子ヤギが来たよ！

名護屋我地島 園児ら大喜び

【名護】屋我地島5区に25日、沖縄市の東南植物楽園（宮里好一代表取締役）から生後2カ月の子ヤギ2頭が贈られた。屋我地ビーチに集まった聖ルカ保育園の園児約20人は、桑の葉の餌やりを体験するなどして子ヤギと触れ合い、大喜びだった。

東南植物楽園が2頭贈呈



2頭の子ヤギと触れ合う園児たち＝25日、名護市屋我

3月末に済井出区の金城薫区長から「子どもたちが触れ合えるヤギを探している」と、屋我ビーチセンターの岡市尚士さんに相談があった。センターと同じタピックグループが運営する東南植物楽園で、同じ時期に生まれた雄と雌の子ヤギがいることが分かり、屋我地島に贈呈することになったという。

比嘉涼楓ちゃん(4)は「また一緒に遊びたい」とにっこり。當間嗣和人ちゃん(5)は「餌を食べるところがかわいい。これからみんなで名前を決める」と楽しそうだった。

「みんな楽しそうで良かった。子どもたちがいつでもヤギに会えるようにしていきたい」と金城区長。2頭の子ヤギは済井出区公民館で飼育されるが、飼育小屋を移動式にして、羽地や今帰仁の子どもたちでも触れ合うことができるようにするという。

宮里高明副園長は「ヤギの体調管理などで公民館と連携したい」と話していた。